

I. 授業評価集計について

科目の平均値(平均値データ)を集計する方法で実施した

II. 集計結果

1. 授業評価実施状況

実施科目数：86科目（全86科目：臨床実習を除く）  
実施率：100%  
回収率：96.7%（1年生：93.4% 2年生：98.7% 3年生：98.0%）

2. 学生による「授業評価」結果

- 1) 学生の受講姿勢に関する自己評価(平均値データ) (表1)  
学生の受講姿勢で自己評価が高かったのは、「問3 あなたは授業のマナーを守って受講しましたか」(3.75±0.24)であった。  
評価が低かったのは、「問1 あなたは予習をして授業に臨みましたか」(2.52±0.30)であった。
- 2) 学生の授業に対する評価(平均値データ) (表2)  
総合的な評価の問19を除いた13項目中上位3項目は、「問10 教員は準備を十分にし、熱意をもって授業を進めた」(3.95±0.27)、  
「問8 教員の話し方は聞き取りやすかった」(3.87±0.35)、「問6 教員の説明はわかりやすかった」(3.85±0.37)であった。下位3項目は、「問14 学生  
便覧のシラバス(授業内容)は参考になった」(3.40±0.21)、「問15 授業内容を理解できた」(3.74±0.32)、「問17 この科目の基礎的な知識技術が身についた」  
(3.77±0.28)であった。
- 3) 各学年間における比較(平均値データ) (表3・表5)  
授業に対する取り組み姿勢(問1～5)では、2年生が高い値(3.22±0.21)を示した。一方で3年生が、低い値(3.04±0.15)を示した。  
学年間で項目間比較を行うと、「あなたは授業のマナーを守って受講しましたか」(3.75±0.24)の項目が、全学年高い値を示した。
- 4) 過去との比較(平均値データ) (表4)  
過去4年間(H23年度～H26年度)と比較すると、「問3 授業のマナーを守って受講しましたか」(3.75±0.24)の項目が、年々良くなってきている。  
また、「問6 教員の説明はわかりやすかった」(3.85±0.37)、「問8 教員の話し方は聞き取りやすかった」(3.87±0.35)の項目が、年々良くなってきている。
- 5) 領域間における比較(平均値データ) (表6)  
専門科目においては、PT学科(3.79±0.45)、OT学科(3.66±0.49)と平均値が高い、一方で一般教養科目(3.56±0.36)、専門基礎科目(3.48±0.31)と平均値が低い  
傾向となった。

III. 全体的な考察

1. 単純平均値

各質問グループの単純平均値を全体と学年ごとにみると以下の通りとなる。

質問グループの単純平均値範囲		単純平均値							
質問 グループ	質問 番号	全体		1年生		2年生		3年生	
		H26	H27	H26	H27	H26	H27	H26	H27
1: 学生の受講姿勢に関する質問	①～⑤	2.5～3.7	2.5～3.7	2.5～3.7	2.5～3.8	2.2～3.7	2.8～3.5	2.8～3.6	2.1～3.8
2: 授業に関する質問	⑥～⑬	3.5～3.9	3.4～3.9	3.5～3.9	3.4～3.9	3.2～4.1	3.4～3.6	3.5～4.0	3.3～4.2
3: 総合評価	⑭	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	3.6	4.0	4.1

1) 全体の単純平均値

全体(全学科、全学年、全科目)の単純平均値は、2つの質問グループ①～⑬の質問が、2.5～3.8(前年度 2.5～3.9)で前年度と同水準であった。  
また、総合評価⑭の平均値においても、3.6～4.1(前年度 3.9～4.0)で、やや前年度を上回った。

2) 学年別の単純平均値

1年生は、2つの質問グループ①～⑱において、2.5～3.9(前年度 2.3～3.8)で、前年度と同水準であった。また、総合評価⑲の平均値は、3.9(前年度 3.9)で、前年度と同水準であった。

2年生は、2つの質問グループ①～⑱において、2.8～3.6(前年度 2.2～4.1)で、前年度を下回った。また、総合評価⑲の平均値は、3.6(前年度 4.0)で、前年度よりも0.4低い値を示した。

3年生は、2つの質問グループ①～⑱において、2.1～4.2(前年度 2.8～4.0)で、前年度より0.2上回った。また、総合評価⑲の平均値は、4.1(前年度 4.0)で、前年度よりも0.1高い値を示した。

3) まとめ

全体と各学年の評価まとめ	質問①～⑱評価		質問⑲総合評価	
	H26	H27	H26	H27
	単純平均値	単純平均値	単純平均値	単純平均値
全体(全学科、全学年、全科目)	2.5～3.9	2.5～3.9	3.9	3.9
1年生	2.5～3.9	2.5～3.9	3.9	3.9
2年生	2.2～4.1	2.8～3.6	4.0	3.6
3年生	2.8～4.0	2.1～4.2	4.0	4.1

領域別の評価まとめ	質問①～⑱評価		質問⑲総合評価	
	H26	H27	H26	H27
	単純平均値	単純平均値	単純平均値	単純平均値
一般教養科目	2.1～3.8	2.5～3.8	3.7	3.8
専門基礎科目	2.4～3.8	2.5～3.7	3.7	3.6
専門( PT )科目	2.8～4.0	2.5～4.1	4.0	4.1
専門( OT )科目	2.5～4.1	2.2～4.0	4.0	4.0

全体(全学科、全学年、全科目)では、各質問の平均点が2.5～3.9、総合評価が3.9を示した。

同様に、1年生は各質問の平均点が、2.5～3.9、総合評価が3.9であった。2年生は、各質問の平均点が2.8～3.6、総合評価が3.6であった。3年生は、各質問の平均点が、2.1～4.2、総合評価が4.1であった。1年生は、ほぼ昨年度と同水準を示した。2年生は、総合評価が3.6と、昨年度よりも下降した。3年生は、わすかであるが昨年度よりも改善が認められる。過去4年間を振り返ると、学生自身の予習や復習といった項目が低い値を示した。H27年度は、授業中にシラバスを提示し、教育目標や内容、課題等を明確化した。来年度は、一部科目のコマシラバスを詳細にし、科目間の到達度、内容、課題等をリンクさせ、学生が到達度を理解したうえで、学習に取り組めるようにする。

一般教養科目は、各質問の平均点が、2.5～3.8、総合評価3.8であった。専門基礎科目は、各質問の平均点が、2.5～3.7、総合評価3.6であった。専門(PT)科目は、各質問の平均点が、2.5～4.1、総合評価4.1であった。専門(OT)科目は、各質問の平均点が、2.2～4.0、総合評価4.0であった。一般教養科目や専門基礎科目の評価点が低迷しており、専門科目が高水準を維持する結果となった。多くの専門科目は、学内の専任教員が担当しており、学生の意見や要望を授業に反映しやすいものと推察される。そのため、H25年度より、専門基礎科目を中心とした特別枠カリキュラムを設け、学内教員が担当することで、更なる学生の理解度の向上に努めている。また今年度より、教職員による授業評価を導入し、専門科目を中心に実施しているところであり、学内教員の資質向上に役立てている。

今後の目標は、全学年の総合評価点を4.0以上に引き上げることである。特に、2年生の評価点の向上が求められるところである。2年次の主たる授業内容は、各疾患の基礎を学ぶところにある。毎年、授業内容が理解できない、苦手意識が高まりやすい時期である。学内教員が個々の学生の理解度を把握し、補習や個別指導体制を強化し、授業内容の理解度を向上させていく。そのため、本評価で得られる学生の意見・要望を活用し、さらなる教員の資質向上をはかっていく。